

A案

葛塚東児童館を統合・早通児童センターを現状のまま活用する案

○葛塚東児童館

葛塚東児童館は令和6年3月末をもって施設を終了とする。

○早通児童センター

早通児童センターについては、当面の間、運営を継続とする。

但し、施設の安全性が保てなくなった場合、速やかに利用制限や利用休止とする。

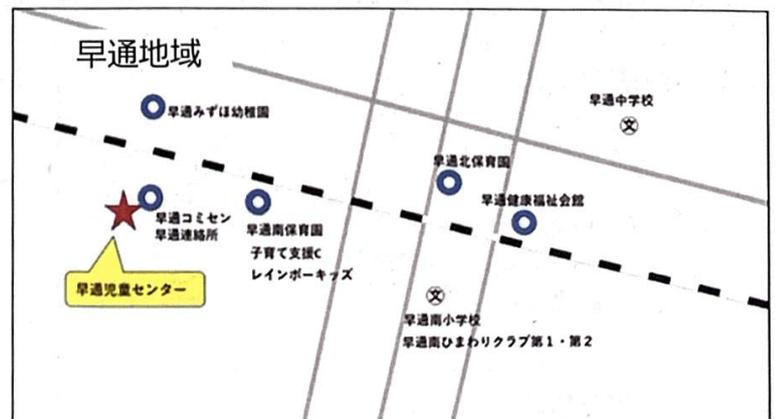
案の概要

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

- ・葛塚東児童館はすでに遊戯室の利用を制限せざるを得ないほど施設の老朽化が進行していることから令和6年3月末で廃止し、豊栄児童センターへ統合。
- ・豊栄児童センターは葛塚東児童館の利用者を受入れるとともに北区全域に出張児童館などの児童館機能を提供する拠点として強化。
- ・早通児童センターは葛塚東児童館ほど施設の老朽化が深刻でない当面の間、運営を継続。
- ・早通地域の子どもの居場所、多世代交流の場としての機能は当面は保たれる。
- ・三ツ森児童館は現状どおり運営。

課題

- ・早通児童センターは早期に屋根、外壁、内部改修が必要な施設であり、近い将来、施設の安全性の確保が出来なくなる恐れがある。その場合、機能移転の検討を進めていないと早通地域の居場所づくりの準備ができないままに利用休止となる可能性がある。



対策案作成にあたり参考としたご意見

- ・早通児童センターを修繕をしながら、現状のまま使い続けたい。
- ・学校や家以外に居場所が必要な子ども達にとって早通児童センターがなくなることが気になり。地域の特性からも早通児童センターの役割は大きい。
- ・子ども達との交流を楽しみにしている地域の人達を結ぶ拠点となっている。子育てがしにくい早通地域になるのではないかと心配。
- ・早通児童センターは早通駅から徒歩3分で立地が良く、北地区から電車で通っている子もいる。
- ・葛塚東児童館は豊栄児童センターと地域が近く統合することは理解できるが、早通地域は統合するには遠く存続すべきである。

B案

葛塚東児童館を統合・早通児童センターを既存施設へ一部機能移転する案

○葛塚東児童館

葛塚東児童館は令和6年3月末をもって施設を終了とする。

○早通児童センター

早通地域での児童館機能を確保していく方策を地域と区が共に検討し、3～4年後を目途に既存施設へ機能移転を進める。

但し、施設の安全性が保てなくなった場合、速やかに利用制限や利用休止とする。

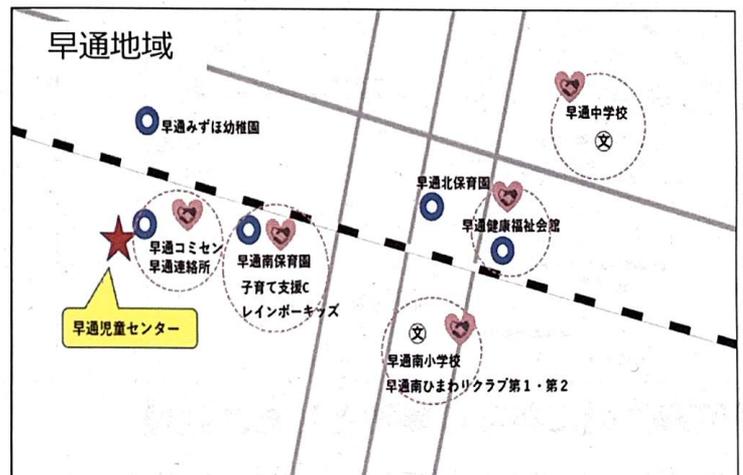
案の概要

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

- 葛塚東児童館はすでに遊戯室の利用を制限せざるを得ないほど施設の老朽化が進行していることから、令和6年3月末で廃止し、豊栄児童センターへ統合。
- 豊栄児童センターは葛塚東児童館の利用者を受入れるとともに北区全域に出張児童館などの児童館機能を提供する拠点として強化。
- 早通児童センターはこれまで果たしてきた機能を確保するため3～4年後を目途に他既存施設への一部機能移転を進める。現在の所在地と同敷地内である早通コミュニティセンターをはじめ、早通健康福祉会館や小・中学校を機能移転先として具体の検討を進める。
- 早通地区の児童館機能の受け皿として未就園児の子育て支援は早通南保育園内にある子育て支援センターの周知、利用促進を図る。
- 区は子どもの居場所の確保に取り組む地域の組織活動を支援する。
- 三ツ森児童館は現状どおり運営。

課題

- 他既存施設で子どもの居場所を確保するにあたり、他施設管理者との運用面での整理が必要。
- 多様な児童館機能を網羅している現早通児童センターと同一のサービス提供は困難なため、複数の場所で子どもの居場所を確保していく方策の実施が必要。



対策案作成にあたり参考としたご意見

♡ : 機能移転の候補としてご意見のあった施設

- 早通児童センターが存続することが一番良いが、廃止とする場合は代替えとなる場所を確保してからの移転とすべき。既存施設を活用した子どもの居場所を確保する。
- コミュニティセンター、早通健康福祉会館、小中学校の空き教室、空き家、空いている商業施設、ひまわりクラブ、自治会館などが移転場所として提案された。
- 「中・高校生も利用できるような居場所の開設」や「子どもが参加できる魅力ある行事の実施」についての要望もいただいている。

B案（A案）を実施する際に考えられる 取組み

～皆さまからのご意見を参考に考えられる取組み～

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

<既存の建物を使った取組み>

児童館の主な利用者である小学生の遊び場・居場所として既存の施設を活用し、小学生の利用が想定される夕方の時間帯などに、スペースを解放。既存施設の主な利用者である地域の高齢者との多世代交流が期待できる。早通地域で想定される建物としては、コミュニティセンターのほか住民で建設した早通健康福祉会館や空き家の活用が考えられる。

【想定される主な機能】

子どもの遊び場、居場所

地域全体の交流の場、居場所

歩いて行けるエリアでの検討

異年齢児との交流や出会いの場

地域の活性化

活動や体験機会の確保

ひまわりクラブに通わない小学生の居場所

<地域交流、多世代交流による様々な活動や体験>

地域や団体の協力を得て、これまで児童館で実施してきた各種行事を、早通健康福祉会館や地域の茶の間等と連携し、子どもを対象とした活動を実施することで地域交流、多世代交流を支援する取組みを継承していく。

【想定される主な機能】

地域全体の交流の場、居場所

異年齢児との交流や出会いの場

地域の活性化

活動や体験機会の確保

<小学校・中学校を含めた子どもの居場所づくりによる異年齢交流や体を使った活動の実施>

ふれあいスクールなどへの出張児童館により、北区全域へ児童館機能を提供。学校体育館を活用し体を使った遊びの実施ができる。現在、児童館所在地にはふれあいスクールの設置がなく、ふれあいスクールを組織することも考えられる。本市では、2022年度より子どもの成長を「地域総がかり」で支える仕組みであるコミュニティ・スクールを導入し、「地域とともにある学校づくり」にも取り組んでいる。

【想定される主な機能】

子どもの遊び場、居場所

安全な環境

歩いて行けるエリアでの検討

異年齢児との交流や出会いの場

身体を使った活動の場所

ひまわりクラブに通わない小学生の居場所

<配慮を必要とする子どもへの支援>

早通健康福祉会館で実施している早通こども食堂「ひまわり食堂」と児童館が連携した事業や学習支援などの他事業と組み合わせた働きかけを実施。

一体的に実施することで子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の早期発見が期待できる。

【想定される主な機能】

配慮を必要とする子どもへの支援

子育て世帯の支援

<中・高校生を含めた子どもの居場所づくり>

児童館は閉館時間が比較的早いことから、中・高校生が利用しづらい現状である。施設の開館時間が午前9時から午後9時半までと長いコミュニティセンターの特性を活かし、談話スペースや学習スペースなど中・高校生が集える居場所について検討。

例)葛塚コミセンや豊栄公民館の学習スペース

【想定される主な機能】

中・高校生の居場所

<未就園児とその保護者への相談・援助>

早通南保育園内の子育て支援センターレインボーキッズなど、北区内に6か所ある子育て支援センターの更なる利用促進。子育て支援センターでは保育士や保健師、栄養士などの専門家による育児相談やスペースの開放等を開催している。

【想定される主な機能】

子育て世帯の支援

未就園児と保護者への相談・援助

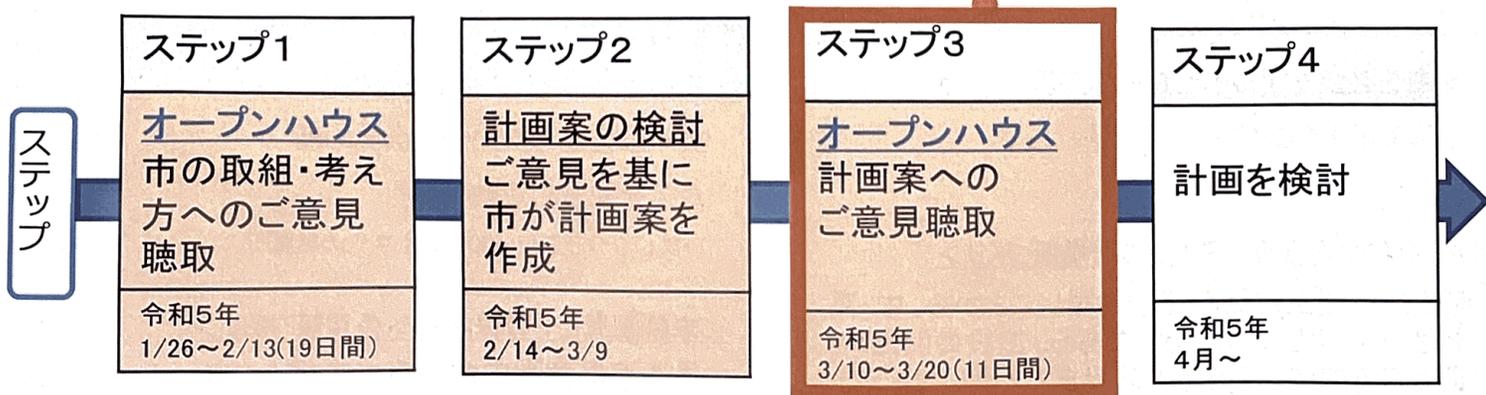


地域資源を活用した子どもの居場所の実現

北区の児童館再編案の進め方

北区では、オープンハウス(パネル展示型説明会)を通じ、広くご意見を伺うとともに、いただいたご意見を丁寧に検討しています。今後、市で児童館再編の計画検討を行います。対策案を評価し、今後の計画に生かしていきます。

現在、ここまで進んでいます！



ご意見・お問い合わせ先

みなさんのご意見をお寄せください！

新潟市北区健康福祉課
 〒950-3393新潟市北区東栄町1丁目1番14号
 TEL: 025-387-1335
 E-mail: kenko.n@city.niigata.lg.jp

